

## 平成26年第2回定例会一般質問通告概要一覧表

質問順	受付月日	6. 5	通告者	16番	昌 浦 泰 已
1番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別
一問一答					
<p><b>1. 本市の将来について</b></p> <p>(1) 本市を将来にわたって維持するためにはどれぐらいの人口が最低限必要か、市当局の見解を伺います。</p> <p>(2) 今後の本市の雇用促進について、市としてどのような施策をお考えでしょうか。</p> <p>(3) 市は長期的な視野に立ち、子育て支援策を講じるべきと考えますが、現時点での方策と今後の方策についてお伺いします。</p> <p>(4) 庁内に少子化対策プロジェクトチームを設置し、積極的な人口増加策を立案すべきと考えますが、市当局の見解を伺います。</p> <p>(5) 2市3町に地域戦略協議会を設置し、圏域がそろって少子化や雇用確保等の対策に乗り出すべきと考えます。市当局の見解を伺います。</p>					

質問順	受付月日	6. 5	通告者	9番	佐藤恵子
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別
総括					
<p><b>1. 被災者の生活支援について</b></p> <p>(1) 災害公営住宅の家賃低減期間の延長を図られたい。</p> <p>(2) 被災者の医療・介護費の自己負担免除対象の拡大を図られたい。また、県に対し、必要な負担を行うように強く求められたい。</p> <p>(3) 仮設住宅等の暮らしが長引き、被災者の健康悪化が進んでいる。身体と心のケア体制の整備・充実を図られたい。</p> <p><b>2. 被災商工業者の支援について</b></p> <p>(1) 2月27日の河北新報の記事で市長は「今後、中小企業への支援が課題だ」と述べている。私は、2月議会でも仮設店舗事業者の本格的移設のために、国の事業の活用等を提案してきたが、現在、どの様に検討されているか。また、関連する支援策等について答えられたい。</p> <p><b>3. 被災住宅の嵩上げ助成拡充について</b></p> <p>(1) 先頃市は、全世帯に津波ハザードマップを配付した。それを見ると、浸水地域の多くが浸水予想深2m以上になっており、これらの所では、宅地の嵩上げが必要なことを改めて示している。ところが、現在の市の嵩上げ助成制度の条件では、対象が極めて狭められている。これまで適用されたのは、わずか13件にすぎない。現行制度のTPO. 7m以下という条件を外し、津波被災地域全域を対象とするよう改善されたい。</p>					

質問順	受付月日	6. 6	通告者	11番	松村敬子
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. 胃がん検診について</b> 胃がんの早期発見と予防のため、胃がんの原因とされるピロリ菌の検査を導入されたい。</p> <p><b>2. 子ども医療費助成について</b> 子育て世代の経済負担軽減と定住策を図る、通院の医療費負担助成を現在の小学3年生から小学6年生まで拡充されたい。</p> <p><b>3. 安心・安全なまちづくりについて</b> 多賀城・七ヶ浜商工会は商店街の安心安全なまちづくりをめざし防犯カメラ設置に向け取り組んでいる。本市も早期実現に向け支援すべきと考えるが如何に。</p>					

質問順	受付月日	6. 6	通告者	12番	阿部正幸
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. 災害公営住宅について</b> (1) 新たな居住環境において近隣関係を構築することは、ストレスが伴います。阪神淡路大震災後、災害公営住宅入居予定者事前交流事業を実施し、入居不安の解消、コミュニティづくり、自治会の早期結成に寄与したと考えられています。本市においても事前に入居予定者懇談会などを実施していただきたい。 (2) 仙台市では「被災者生活再建プログラム」として、「一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援」、「人と人とのつながりを大切にした支援」を行うため、災害公営住宅に入居した全世帯を対象に個別訪問を実施しております。本市においても、災害公営住宅の全世帯訪問を実施し、被災者の相談に応じていただきたい。 (3) 災害公営住宅の入居世帯へ訪問するための「来訪者駐車場」を設置していただきたい。</p> <p><b>2. 地域猫の不妊施術に対する一定額助成について</b> (1) 飼育者のいない所謂「地域猫」が放置され、繁殖増加することによって、地域住民の生活に影響を及ぼすことがあります。不妊施術等によって繁殖を制限することは、公衆衛生上のみならず、動物愛護の観点からも必要なことです。「地域猫」を保護し、不妊施術を施した場合に一定額を助成していただきたい。</p>					

質問順	受付月日	6. 6	通告者	14番	雨森修一
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p><b>1. 多賀城駅前広場の時計塔の移動計画と再利用について</b></p> <p>昭和51年3月策定が多賀城市総合計画をはじめとする各種調査によって、市の中心市街地として位置づけられる多賀城周辺地区整備の基本方針が示されました。</p> <p>駅前開発事業の一端として多賀城駅前広場に時計塔が建てられ、モニュメント多賀城政庁の築地断面をデザイン化した耐候性銅の時計塔であり、多賀城駅前線人間道路会議賞を平成2年3月29日に受賞しています。多賀城駅前のシンボルとして今日まで市民に親しまれて来たが、新駅完成に伴い新たに駅前公園計画が進められ、平成26年度設計、平成27年度完成とされています。新計画の中で時計塔の移動計画もありますが、史都多賀城をイメージ化した時計塔の再利用を望むものであります。</p> <p>一案を申し上げますと、駅北側に移動し、灯台に変身させてはと考えます。旧地名を使って「龍ヶ崎灯台」とし、多賀城の新名所にしてはいかがでしょうか。市長のお考えを伺います。</p>					

質問順	受付月日	6. 6	通告者	2番	戸津川 晴 美
6番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 一問一答
<p><b>1. 子育て支援策について</b></p> <p>少子化対策や定住促進対策としてはもちろん、消費税増税の重い負担にあえぐ子育て世代支援策として、乳幼児医療費助成対象のさらなる拡大は急務であると考えがいかがか。</p> <p><b>2. 高齢者支援策について</b></p> <p>(1) 高齢などのため、理容・美容院に行けない方々のために、訪問理容、訪問美容への助成策を導入してはいかがか。</p> <p>(2) 要介護認定者に対し、障害者控除対象者となり得る旨の周知・徹底策をさらに強化するよう求めるがいかがか。</p> <p><b>3. 原発問題について</b></p> <p>(1) 福井地方裁判所において出された、大飯原発再稼働差し止め判決に対する市長の所見並びに女川原発再稼働に対する市長の姿勢を改めて問う。</p> <p>(2) 被災後の子どもの健康調査について、平成24年第2回定例会において「医師会のお医者さん等と機会があればお話し合いをしてみたいと思います」との答弁を得たが、その後の進捗状況を問う。</p>					

質問順	受付月日	6. 4	通告者	15番	吉田 瑞生
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 俳聖松尾芭蕉が「おくのほそ道」に記した、多賀城市内に所在する名所旧跡の風致景観を、国の名勝に指定（国指定文化財）するよう求めることについて芭蕉が訪れた著名な歌枕の地として知られている風景地「末の松山及び沖の井（沖の石）」を、国の名勝として指定するよう文化庁に申請し答申を願うことについて</p>					

質問順	受付月日	6. 5	通告者	1番	柳原 清
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 留守家庭児童学級の過密解消について  現在、市内に8カ所の留守家庭児童学級がありますが、多賀城小学校の第一すぎのこ学級、城南小学校の第一もみじ学級、東小学校のうぐいす学級は定員40名に対し69名から75名の児童数となっています。児童の生活環境を守るために、部屋の増築など、過密解消を計ることが急務だと思いますが、過密解消策についてうかがいます。</p> <p>2. 保育所待機児童について  本市では、保育需要が年々増加し、申し込んでも保育所に入れない、保育所待機児童問題が深刻になっています。一時あずかり保育も一杯で、保育所入所は子育て世代の最も切実な要望となっています。今年度2園が新設される予定ですが、本格的な待機児童解消には至っておりません。待機児童解消の方策についてうかがいます。</p> <p>3. 民間保育所の地代（敷地の賃借料）補助について  待機児童解消のため、大崎市では市が土地を提供し、保育所誘致を積極的に進めています。しかし本市では市有地が少なく、民地を賃貸して建設している保育所も多くあります。保育所誘致を進めるため、民間保育所の敷地賃借料に対する補助制度を作っていただきたい。</p>					

質問順	受付月日	6. 6	通告者	4番	深谷晃祐
9番	答弁者	教育長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 正しい地図を活用した教育の推進について</p> <p>現在、全国の小中学校や高等学校で、子供たちに正しい日本地図（沖縄県や離島が地図の左上などに切り貼りしたものではなく、国土地理院の日本地図をA1サイズに落とし込んだもの）を見て、図形から日本を学んでいく動きがあります。正しい領土・領海を学ぶことは非常に重要であることから小中学校の各教室にこの正しい日本地図を掲示すべきと考えるがいかがか。</p>					

質問順	受付月日	6. 6	通告者	8番	藤原益栄
10番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 市政運営の問題について</p> <p>(1) この1年、次々と明らかになった以下の市政運営上の問題について、その都度問題にはしてきたが、どのように認識をされ、どのようにしようとしているか、改めて市長および教育長の見解を問う。</p> <p>①余りにも簡易な復命書で出張していた件。</p> <p>②事実を偽り議会に資料を提出しなかった件。</p> <p>③議会で説明した資料を勝手に「部外秘」とした件。</p> <p>④子どもたちからは意見を聞きつつ、パブリックコメントを求めなかった件。</p> <p>⑤CCCの問題発言について問われた教育長の不誠実答弁の件。</p> <p>⑥議会の質問に「答えたくない」と発言した職員の件。</p> <p>⑦指定管理は公募を原則とするとしながら、公募をしなかった件。</p> <p>⑧指定管理で応募期間終了後に応募要項等をネット掲示した件。</p> <p>(2) なぜこのようなことが続発したかとお考えか。市長および教育長に問う。</p>					